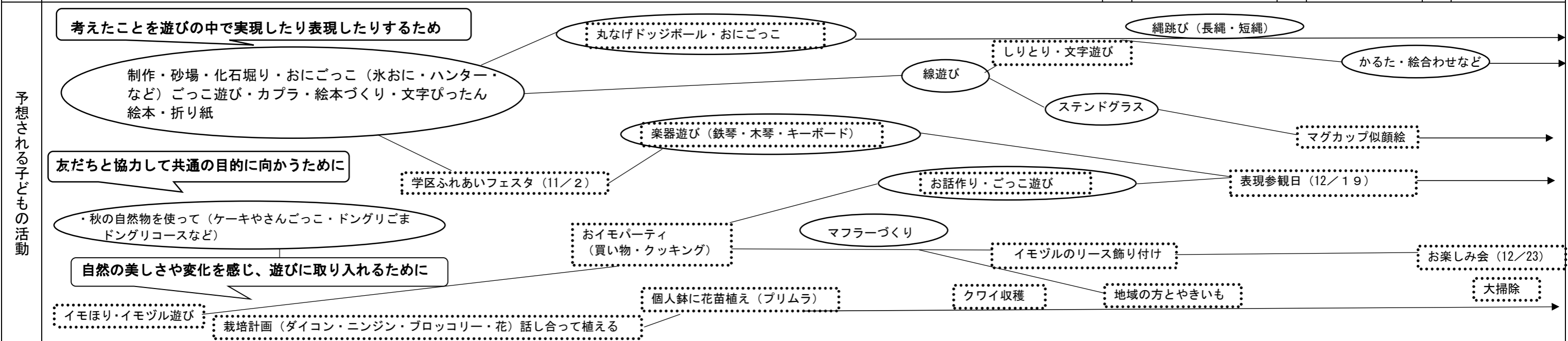


子どもの姿	<p>〈生活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登降園時に友だち同士で挨拶を交わし合ったり、片付けや当番活動、次の活動などに気付いて友だちに知らせたりするなど自分たちで声を掛け合い生活を進める様子が見られている。</li> <li>○作って遊ぼうと夢中で制作すると、使った用具などの始末を忘れて作ったものですぐに遊びがちになることがある。</li> <li>○肌寒くなり、衣服に手を入れたり手洗いうがいを簡単に済ませようとしていたりする姿がある。</li> <li>○戸外で活発に遊ぶようになり、空腹を感じて給食を心待ちにしよく食べるようになる。</li> <li>○掃除のときに隅々のごみを見つけて友だちと一緒に楽しみながら掃除をしたり、給食当番で配膳する際には配り忘れがないか友だちと確認をし声を掛け合いながら行ったりしている。</li> </ul>	<p>〈遊びと人との関わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今まで楽しんできたごっこ遊びやおにごっこなど、また新たに友だちと一緒にルールや遊び方を決め、複数の友だちと遊ぶことを楽しむようになる。</li> <li>○友だちとのトラブルでは周りにいる子ども達も一緒に意見を言ったり、解決法を考えたりしながら、自分達で解決しながら遊びを続ける姿がある。一方で状況が掴めず子どもだけでは解決ができにくいこともある。教師が言葉を補い状況整理ができるよう仲立ちをすることでこうすればよかったという方法を見つけ、自分から動く姿が見られる。</li> <li>○友だちと一緒に遊ぶ中でアイデアを出し合い、同じイメージをもって遊ぶ楽しさを共感しあう。</li> <li>○クラスみんなで考えたり思いを出し合ったり協力したりし遊ぶことに楽しさや期待感がもてるようになる。</li> </ul>
-------	---	--

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分達の考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わう。</li> <li>・感じたことや考えたことを相手に伝えたり人の話を落ち着いてきいたりしながら遊びを進める。</li> <li>・自分のイメージを言葉や形、お話などにして表現しようとする。</li> <li>○友だちと協力して共通の目的に向かって取り組む充実感を味わう。</li> <li>・友だち同士で遊びの役割やルールを考えたり話し合ったりしながら遊びを進める。</li> <li>○自然の美しさや変化を感じながら、自然物を遊びに取り入れ遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・身近な自然や社会事象に関心を持ち、よくみたり考えたりし季節や生活の変化に気付く。</li> <li>・風の冷たさや身近な自然の変化に気付く。</li> <li>○異年齢の友だちやいろいろな人との関わりを楽しみ自信をもって生活しようとする。</li> <li>・友だちと一緒に考えたり作ったりした遊びに招待したり披露したりする。</li> </ul>	歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あしたは晴れる</li> <li>・ゆうき100%</li> <li>・あわてんぼうのサンタクロース</li> <li>・きらきら星</li> <li>・ドレミのうた</li> <li>など</li> </ul>	制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然物を使って</li> <li>・マフラー</li> <li>・クリスマス飾り</li> <li>・スタンドグラス</li> <li>など</li> </ul>	集団遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボール</li> <li>・おはなしごっこ</li> <li>・長縄</li> <li>など</li> </ul>
--------	--	---	--	----	---	------	--



●環境構成と ○教師の援助	<p>＜自分達の考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わうために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●友だちと一緒に遊びを考えたり、発展させたりすることができるように時間と場所を十分に与える。</li> <li>●一人ひとりがアイデアやイメージを広げ、自分たちの考えを遊びの中で生かせるために、さまざまな素材や用具を、用意しておく。</li> <li>●子どもが誘い合って遊びが始められるよう、遊びに必要な用具類は所定の場所に用意しておく。(ライン引き・ボール・長縄他)</li> <li>○投げドッジやルールのある遊びなど、自分達で仲間を集めて遊びを進めることができるように、場所や時間を保障する。楽しんでいること、ルール認識の違いなど遊びの様子を見守りながら必要に応じて声をかけていく。</li> <li>○お話や文字、数など生活の中で親しめるように、ひらがな表を提示したりお話づくりや文字を遊びを取り入れて遊んでいる姿を認めたり一緒に遊んだりする。</li> <li>○子どもが自分の考えを相手にわかるように言葉や動きで伝えたり、意見が食い違うときには話し合っ折り合いをつけたりできるように援助していく。</li> <li>○自分達で遊びを進めていこうとする気持ちを大切に見守りながら、一緒に遊んでいる友だちと自分の考えを出し合い、ルールを決めたり遊びを進めたりできる様子。</li> <li>○友だちと一緒に体を動かす心地よさを十分に感じられるよう、必要に応じて教師も遊びの一員となり、楽しさを共感していく。</li> <li>○ごっこ遊びやお話作りの過程で、視覚教材や具体的な道具などがあることでみんなでイメージが共有できるよう子ども同士で考えたり作ったりしていけるようにする。</li> </ul>	<p>＜友だちと協力して共通の目的に向かって取り組む充実感を味わうために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●木琴、鉄琴・キーボードなどの楽器に興味をもてるよう、楽器を種類別に分けて用意しておく。階名がわかりやすいようにしておく。</li> <li>●自然物を遊びに取り入れていけるよう自然物、素材など組み合わせられるように用意しておく。また作ったものを置く場所を用意し、遊びや制作のアイデアなど友だちの作品を見たり触れたりして刺激となるようにする。</li> <li>●自分たちでやりたいことをクラスみんなで話す機会を設け、どんなふうに活動するのかということが分かり仲間として活動できるように意識付けできるようにする。</li> <li>○友だちとアイデアを出し合っ活動する楽しさを感じ、さらに遊びを楽しくできるような雰囲気づくりをしていく。</li> <li>○友だちと一緒に繰り返し遊ぶ中でリズムや曲に合わせてみたりし、その面白さに気付けるようにする。</li> <li>○遊びの中で友だちの考えや表現に関心をもって見たり、聞いたりすることで友だちのよさを見つけたり、認め合ったりできるように援助していく。</li> <li>○子どもの達成感が高まるように、一人ではできないことが友だちと協力することでできた時を見逃さず認め、喜びを共感していく。</li> <li>○おイモパーティや発表参観などへの見通しがもてるように手順や準備物、役割など子ども同士で話し合えるようにする。</li> <li>○自分たちがしている活動に異年齢の友だちを誘うことで、接し方を考えたり喜んでもらった喜びを感じたりし、充実感が味わえるようにする。</li> </ul>	<p>＜自然の美しさや変化を感じながら、自然物を遊びに取り入れるために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●気候を見ながら、飼育動物の飼育小屋にビニールを張り冬に向けて準備する。</li> <li>●個人鉢を用意し、自分で花の苗を植え、世話ができるようにする。</li> <li>●身近な自然物をいつでも使えるように置いておき、自分達で考えた遊びや飾りなどにいつでも取り入れられるようにする。</li> <li>●クリスマスの雰囲気など生活の変化に合わせてクラスの環境も整えていく。</li> <li>○園庭の木の葉や山の変化、風の冷たさなど子ども達の気付きを大切に受けとめたり、教師の気付きも伝えたりしながら、季節の変化に関心を持てるようにしていく。</li> <li>○動植物の冬支度の話をする中で、いたわりの気持ちを持ち、園のウサギの世話や過ごし方に興味や関心がもてるようにする。</li> <li>○空調の調節や換気をこまめに行う。</li> <li>○自然や生活の変化に関心をもつとともに、自分達でできる新年の準備や大掃除に積極的に参加し、冬休みを楽しみに待つことができるようにする。</li> <li>○マフラー作りや歌、クリスマス飾り作りを通して冬の訪れが感じられるようにする。</li> <li>○栽培物の生長の変化やどのように世話をするとよく育つか自分なりに観察したり気付いたりできるように子どもの発言に共感したり一緒に考えたりしていく。</li> </ul>
------------------	---	--	--

期のねらい

- 自分たちの考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わう。
- 友だちと協力して共通の目的に向かって取り組む充実感を味わう。
- 自然の美しさや変化を感じながら、自然物を遊びに取り入れ遊ぶことを楽しむ。
- 異年齢の友だちやいろいろな人との関わりを楽しみ自信をもって生活しようとする。

内容

- ・感じたことや考えたことを相手に伝えたり人の話を落ち着いて聞いたりしながら遊びを進める。
- ・自分のイメージを言葉や形、お話などにして表現しようとする。
- ・友だち同士で遊びの役割やルールを考えたり話し合ったりしながら遊びを進める。
- ・身近な自然や社会事象に関心をもち、よく見たり考えたりし季節や生活の変化に気付く。
- ・風の冷たさや身近な自然の変化に気付く。
- ・友だちと一緒に考えたり作ったりした遊びに招待したり披露したりする。

子どもの姿と願い

- ・おにごっこでは、バナナおにごっこおりになどその時に集まった友だちと話し合って遊びを考えて遊び出している。バナナおにごっこでは、初めてする友だちに身振りをつけて詳しくルールを説明し一緒に楽しんでいる姿がある。逃げて遊んでいるうちに友だちがこけたり、新たな友だち増えたりすると一度集まって仕切り直したりし繰り返し遊ぶことを楽しんでいる。繰り返しているうちに逃げ方や逃げ場所など考え、どうすれば捕まらないか考えて工夫しているように、作戦を地面に書いて相談していた。その作戦を実際にやりながら逃げたり追いかけたりする面白さと友だちとの協力戦を楽しんでいるので、自分たちで考えた遊び方で遊ぶ面白さが存分に味わえるようにそのアイデアや遊び方を見守っていきたい。
- ・研究所から始まったお話をみんなで遊びながら考えて作り出来上がった。お話が進むにつれ、実際に転んだり歩き回ったりと自然に体を動かして楽しみ始めたことで「町を作ったらいいんじゃない」「木もあつたらいいな」「探偵の家を作ろう」と言い始めた。よりイメージをもち始め、絵本だけではなく、劇のようにしたい思いも持ち始めたので、その遊び場や必要なものを友だちと一緒に作ったりクラスみんなでイメージを考えたりしながら遊んでいきたい。
- ・ドングリごまや鳥トラップ、泥遊びなど自然物を取り入れて試したり気付きを伝えあつたりしながら遊んでいる。互いのやっていることに関心をもってじっくり遊ぶ様子があるので、その気付きにしっかりと共感していききたい。

週のねらい

①友だちと一緒に遊びのイメージを共有しながら遊んだり遊び方などを考えて実現しようとする。

②冬の訪れを感じながら身近な自然物を取り入れて遊んだり観察したりする。

内容

①集団遊びや楽器遊び、お話ごっこなど友だちと同じイメージや目的をもって遊んだり協力したりする。

①自分のアイデアや思いを伝え、友だちと考えながら遊びを進める。

②マフラー編みやドングリごまを楽しむ。

②栽培物の世話をしたり変化に気付いたりする。

1日（月） 弁当日

2日（火）

3日（水）

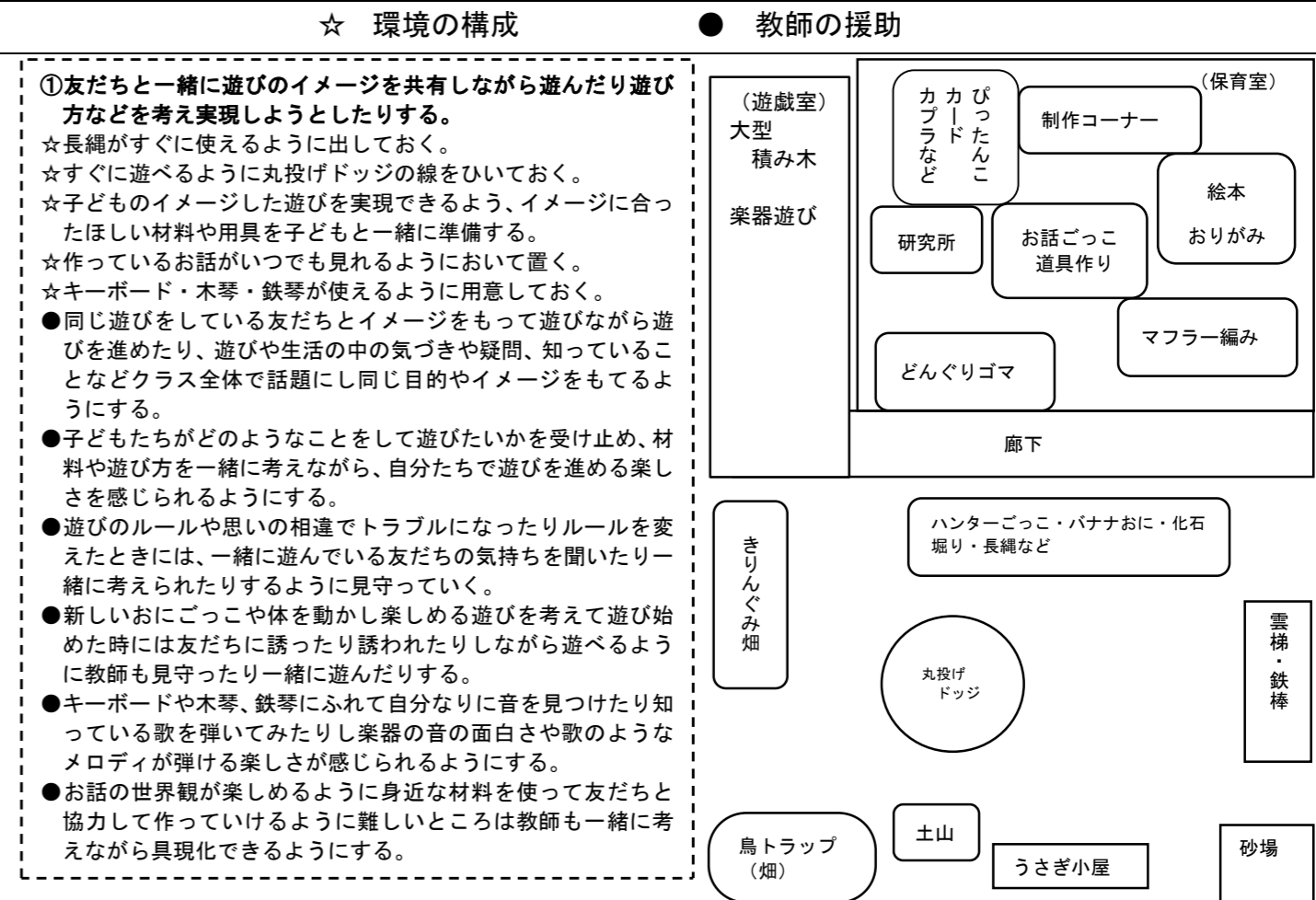
4日（木） 国公幼研究大会

5日（金）

8:30～	○登園し、荷物整理をする。 ○好きな遊びをする。 水やりをする (制作・砂場・化石堀り・研究所ごっこ・丸投げドッジ・おにごっこ(バナナおにごっこ・ハンター・おこりになど)・楽器遊び・マフラー編みなど) お話ごっこの道具作り(家・虫メガネ・木など)			
10:30片付け	10:30片付け	10:00片付け	9:55片付け	10:30片付け
朝の集まり ・遊びの振り返り ・リズム遊び・歌(ドレミのうた・きらきらぼし・あしたははれるなど) *遊びや生活の中で、知らせたいことや気づいたことなど共有する。				
○絵本返却		10:30降園		○絵本貸出し
○楽器遊び(木琴・鉄琴・キーボード) *知っている曲にあわせてたり音階が弾けたりする面白さを感じる。				
お話絵本作り・ごっこ遊び *お話のイメージを色々な表現で楽しんだり、子ども同士で共有したりしていく。				
丸投げドッジ・ハンター・バナナおにごっこ *友だちの考えているルールを知り、共有して遊ぶことを楽しむ				

振り返り

- ・鳥トラップの様子を見に行き、ア리가たくさんきていることと実が何カ所かなくなっていることに気付き、子ども同士で気づきを話していた。葉っぱの色や枝が変わってきているから新しくしようとしていた。ミカンのにおいの強さに気付いたり鳥がどの枝に止まって食べるのか想像したりしながら作っていた。
- ・12月の行事などについて子どもたちと話していると、「前のきりんぐみさんの発表会」についての話題となった。自分たちもやりたいと早速やりたいことを話しあい合奏・歌・劇をすることとなった。何を準備するのか楽器は練習も必要だなどと自分たちなりに話し合う様子があった。自分たちの作ったお話はお気に入り絵本を友だちと楽しそうに読む姿がある。必要な道具を作ってより遊びが具体的にできるようにしていきたい。
- ・バナナおにごっこをしようといっしょに友だちをたくさん集めて遊び始め、しばらくすると集まって話し合っている様子がある。聞いていると「捕まった人をおにごっこで守るのはだめ」「おもしろいからいいじゃん」などとそれぞれに言っている。何でだめなのか聞いてみると守っていると助けに行けないからだと言う。それも面白さだと感じている子もいる。しばらくみんな考えていると「少し間を空けて守ることにするのは？」とA児。教師もその言っていることを補って動きで見せていると「それでやってみよう」ということになり遊びが再開した。それぞれの子どもたちの面白さやルールに対する考えにズレが起こることがあるので、どんな風に子ども同士で考えているのか様子を見ていくことが必要である。
- ・お話ごっこでは、動きを交えて遊んだこととお話が面白くなりそうな道具があることに気付いて作ろうと言っている。
- ・丸投げドッジの円の大きさをだんだん小さくして「難しくしている」と言っていて最後はハートの形にしていた。ハートはとても難しいと言って狭い所を逃げることを楽しんでいるようである。
- ・木やレッドストーンを作っている数人の友だちと、大きさやレッドストーンの硬さをどうするか話しながら作っていた。みんなで遊ぶ時に作ったレッドストーンを使って遊んだら「リアルな感じになってきたなあ」とつぶやいて面白さがより感じられたようである。次は探偵の虫眼鏡を作ろうと探偵役の子どもたちは材料や虫眼鏡のイメージを話していたので、材料を用意しておく。
- ・鳥トラップには今日はアリ1匹しか来ていなかったと気付いている友だちがいた。継続して様子を見ると言っている。



②冬の訪れを感じながら身近な自然物を取り入れて遊んだり観察したりする。

☆虫や草花、石の図鑑や絵本を置いておく。

☆今まで作ったドングリごまがすぐに使えるように置いておく。

☆マフラーが編めるように毛糸・編み機を用意しておく。

●子どもの気づきや発見を受けとめ、そのことを話題にして友だちに広げたり、数や形、大きさに気づかせたりする。

●トラップの様子や変化に気付いて「～かもしれない」などと自分なりの想像や考えたこと、発見に共感し「もっと今度はこうしてみよう」と試して興味を深まるように見守っていく。

●石の色や形、大きさなどに興味をもち、発掘の面白さ、発見や気づきに共感する。

●ドングリごまの回り方や色付けなど自分なりに工夫したり友だちから刺激を受けて遊んでいけるようにする。

●畑や個人鉢の栽培物に興味をもって世話をしたり、生長の変化に気付いたりする。

●マフラーを作りたい子から取り組めるようにし、友だちと会話をしたりじっくりと編んだりし、完成を楽しみに編めるようにする。集中が続きにくい子には、目印をつけてその日の目標が見えるように援助する。

評価

## 5歳児 保育指導案

1 日時 2025年（令和7年）12月4日（木） 9:00～10:30

2 対象児 5歳児 きりんぐみ 25人

3 場所 きりん保育室・園庭・遊戯室

### 4 子どもの姿と教師の願い

子どもたちは全員、進級児であり、進級当初より気の合う友だちと一緒に過ごすことで安心感をもって自分たちの好きな遊びを楽しむ姿があった。1学期は、制作やレゴブロック、大型積み木など室内遊びを好む子どもが多く、自分のイメージしている形を構成したり作ったものを活用して遊んだりすることを楽しんでいた。戸外では虫見つけや色水遊びなど好んでいたが、集団遊びや難しそうな運動遊びなどにはなかなか興味をもてない傾向にあった。友だちのやっていることに関心を寄せ、一人ひとりの子どもの生活経験を基にイメージをもって遊びを展開したりする姿から、様々なクラスでの活動は、子どもたちが「どうすると面白い」「どんな風にやってみたいか」など思いを出し合い、それを子どもたちが実現できるように子どもと教師と一緒に遊びに必要なものを考えて用意し、子どもたちで遊びが進められるよう見守ってきた。子ども同士の対話や友だちの遊んでいる姿に刺激を受けることが増えるようになると、友だちがやっているいろいろな運動遊びにも興味をもつようになった。誘い合って活発に身体を動かして遊ぶ様子が見られるようになり、友だちと新しい遊びやルールを作って楽しむようになってきている。ごっこ遊びや自然物を取り入れた遊びでは、同じ目的をもって遊ぶ中で役割を決め、知っていることや思いついたことを伝え合ったりしている。また、必要なものを自分たちで素材を利用し工夫して作ったり、その物事について「こうしたらどうなるか」などと試したりして夢中で遊ぶ姿が見られるようになってきている。育ちの個人差もあり、一人で絵本を読んだり、教師と一緒に折紙を折ったり、友だちの遊びに興味をもっているも遊び方の共有が難しい子どももいる。遊びたいことや興味をもっていることにじっくりと遊べる時間や場を保障することで、次第に友だちのやっていることや存在を感じながら過ごすようになってきている。

遊びの中で、言葉や文字、数字、形などにも興味をもち、絵本を作ったりお話を作ったりし表現しようとする子どももいる。研究ごっこや化石掘り、絵本作りなどの遊びの振り返りがきっかけとなり、クラスみんなで「お話を作ろう」と毎日少しずつ思いを言葉や動きを交えて伝え合いながらお話を作って遊んでいる。楽器遊びやおにごっこ、自然物を取り入れた遊びなど友だちと同じ目的をもってやろうとしていることや子ども同士のやりとりの中で互いの思いを聞きながら遊ぶ姿を大切に見守り、友だちと協同して遊んだり、遊んでいる遊びの面白さが存分に感じられたりするように援助していきたい。

### 5 期のねらい

- 自分たちの考えたことを遊びの中で実現したり表現したりする楽しさを味わう。
- 友だちと協力して共通の目的に向かって取り組む充実感を味わう。
- 自然の美しさや変化を感じながら、自然物を遊びに取り入れ遊ぶことを楽しむ。
- 異年齢の友だちやいろいろな人とのかかわりを楽しみ自信をもって生活しようとする。

### 6 今週のねらい

- 友だちと一緒に遊びのイメージを共有しながら遊んだり遊び方などを考えて実現しようとしたりする。
- 冬の訪れを感じながら身近な自然物を取り入れて遊んだり観察したりする。

### 7 評価の視点（○子ども ●教師）

- 友だちと遊ぶ中で、互いの思いを聞きながらイメージや遊びを共有したり協同して遊んだりしていたか。
- 子どもの思いを受け止めたり必要に応じて共に考えたり見守ったりし、子ども同士でイメージや遊びが共有できる援助ができていたか。